

Open the future.

お客様に喜ばれるITサービスをPRISMシリーズにてお届けします



- マルチプロセス型製造業にカスタマフィットする生販統合管理パッケージシステム『NK-PRISM』
- 流通・卸売業向けの経営環境変化に柔軟に対応可能なWeb環境対応の販売管理パッケージシステム『Web販売-PRISM』
- 経営とITを橋渡しするコンサル人材集団(14名)『ITC-PRISM』

3つのPRISM、是非、お試しください

ISO14001/ISO27001認証登録



共立コンピューターサービス

〒503-0006 岐阜県大垣市加賀野4丁目1番地の9

TEL (0584)77-2800(代) FAX (0584)77-2841

URL <http://www.okb-kcs.co.jp>

事務局だより

1. 年会費の納付お願い

会員の皆様、4月1日より平成19年度となりますので、年会費(¥5,000)の納付をお願い致します。

お支払い方法は、次のいずれかでお願い致します。

①3月31日の定期総会時でのお支払い

②銀行口座へのお振込

振込先は以下の通りです。

＜振込先＞ 三菱東京UFJ銀行 金山支店

口座番号 普通 1090276

トクヒアイティシイチュウブ

なお、会社名でお振込の場合は、会社名と振込者(個人名)と合致させたく、ITC中部の会員登録名で事務局まで、ご一報をお願いします。

また、平成18年度までの会費が未納の方には、個別にメールで納付のお願いをさせていただいておりますが、配信エラーで案内をお届けできていない会員の方もいらっしゃると思いますので、お心当

たりの方は、上記事務局メール宛にご一報下さい。ご協力をよろしくお願い致します。

2. 会員登録情報確認のお願い

会員の皆様には、広報誌「架け橋」を毎年2回郵送で発送しておりますが、返送されてくるケースが発生しております。広報誌が届かない、会員メールが届かないという方は事務局までお知らせ下さい。

3. パンフレット、広報誌配布のお願い

ITC中部のパンフレットが新しくなりました。ITコーディネータの知名度アップやITC中部への入会のお誘いなどにご活用下さい。

また、広報誌「架け橋」も在庫がございますので、併せてご利用下さい。ご入用の方は、事務局までご一報下さい。

ITC中部 事務局連絡先 info@ITC-chubu.jp

(ITC中部事務局 鳥内 浩一)

NPO・ITC中部広報誌第8号 平成19年3月30日 発行

発行：NPO・ITC中部広報委員会(〒460-0022 名古屋市中区金山五丁目11-6(NSC)内)

発行責任者：NPO・ITC中部 理事長 水口和美 編集責任者：NPO・ITC中部 広報委員長 日比政博

ホームページ(<http://www.itc-chubu.jp/>)

NPO・ITC中部 広報誌

Vol.8

架け橋

KAKEHASHI

特定非営利活動法人

ITC中部

<http://www.itc-chubu.jp/>

江坂専務理事の挨拶

・特定非営利活動法人ITC中部会員の皆様

皆様には日頃からITC中部のさまざまな事業実施に際して多大なご協力とご支援をいただき大変ありがとうございます。「ITC中部」は中部圏のITコーディネータが大同団結したNPO組織で現在会員数は273名とITコーディネータ協会の届出組織としては全国で最大の組織へと成長してまいりました。これも皆様のご協力のおかげと感謝しております。これからITC及びITC中部の発展のため皆様のお力をお貸しいただきたくお願い申し上げます。

・「IT経営カンファレンス in 名古屋」(仮)の開催について

ITコーディネータ協会が初めて地方でカンファレンスを開催することとなりました。トップバッターとしてITC中部が選ばれ、平成19年6月9日(土曜日)名古屋駅前的高層ビル「ミッドランドスクエア・ミッドランドホール」にてITコーディネータ協会、ITC中部の共催で開催準備が水口理事長を大会実行委員長として着々と進められています。

地方で開かれるのは初めてのカンファレンスですので、今後開かれると予想される地方カンファレンスの範となり、また、ITコーディネータ、特にITC中部会員と当地区の中堅、中小企業の皆様の意義あるカンファレンスが開催できることを願っています。

このカンファレンスの成功には、皆様のご協力が必要です、ご協力がなければ成功はおぼつかないと思います、どんなことでもかまいませんのでぜひとも皆様の積極的な参加をお願い申し上げます。

・団塊世代のITコーディネータの輩出と中小零細企業の経営支援

2007年問題の最大課題として団塊世代の退職者が輩出されようとしています。皆様の中でも少なからず対象となる方が見える事と思います。

すでにITコーディネータの皆様には退職後の活動もすべて策定済みかも知れませんが、今一度、企業内活動で養った経営の情報化に関わる知識を有効に活用していただきたいと切に思います。

特に中小零細企業の経営の情報化は遅々として進んでいません。情報化の必要性すら感じてい



江坂 昭 専務理事

ない企業が多いことも事実です。しかしながら、今後の事業活動を考えると経営に何らかの情報システムが入りこんでくる事は必然の事実だと考えます。情報化戦略を持たない状態で少しずつ浸透して行くのが懸念されます。

無駄・余分・非効率・時代遅れ等々、経営資源の乏しい中小零細企業を苦しみ打撃をあたえかねません、ぜひとも皆様の支援が必要です、持っている知識が最大限生かされる現場がそこにあります。団塊世代のITコーディネータとして、その知識と能力を発揮できる場所がある事を今一度ご考慮頂き何らかの行動を起こしていただきたい切に思っています。

ITC中部としても組織として何らかのお手伝いが出来ないか模索をしてゆく所存ですのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

・最後に!!

ITC中部は全国で一番大きな組織となりました、今までは知識ポイントの習得が有利に出来る組織として皆様に支持されて来たと思っています。

既にご承知のことと思いますが、知識ポイントの習得が本年度から改定され、自主勉強会、他組織の後援、ITコーディネータ協会の地方事業の拡大等で地方組織の優位性が大きく低下して来ました。

ITC中部では組織の活性化と存在価値を見出す為、新たな組織活動の中心となるコアコンピタンスを構築し、更なる発展を求めてこの会の運営を推進して行きます。

ぜひとも、皆様方の活発なご意見とご協力をお願い申し上げます。

(ITC中部 専務理事 江坂 昭)

目次

江坂専務理事の挨拶 1

交流会報告 2

ITC事例報告 3

自主勉強会報告 5

ITCA受託業務報告 5

平成18年度第1回例会・講演会 報告 7

委員会報告 7

事務局だより 8

交流会報告

今年度の交流会は、火の国・熊本で活躍されている「ITCくまもと」が主催した2月定例勉強会へ参加しての交流会となりました。ITC中部からは日比広報委員長をはじめ合計9名が参加しました。

ITCくまもとは、熊本県内におけるITコーディネータ制度の定着・発展のために、ITCの継続的能力向上と、ITCとITCを利用する企業・団体とのマッチングを活動の主目的として活動されており、約20名のITコーディネータで構成されているとのこと。各メンバーは民間企業向けのITコンサルティングだけでなく、自治体のシステム導入に関するコンサルティング活動も実施されて

おり、今回の勉強会では、自治体から発注された「IT資産管理システム」および「給与計算システム」に関する業務の具体的な実施内容の紹介がされました。この中で、チームで仕事を進める上でメンバーのスケジュール合わせがむずかしいことや、仕事の段取りがまだ思うようにいかないケースもあるなどの苦労話も聞くことができました。

ITC中部からは、日比委員長が「ITC中部の紹介」「愛・地球博における情報システムの構築・運用」、秋山委員が「経営改革を継続的に支援する経営改革」を発表し、好評を得ることができました。

(ITC中部広報委員 勝野 直樹)



お客様の顔が見えるビジネスを創造する “ InfoFarm 戦略箱 ”



高い稼働率を誇る純国産のSFA／CRMパッケージです。日本の商習慣にマッチした使い易いシステムとして高い評価を得ています。日報管理・案件管理・クレーム管理など150に及ぶ豊富な標準機能により、企業が成長を続ける為のあらゆるビジネスシーンを強力にサポートします。人脈や企業の関連性を蓄積できる「リレーション機能」は戦略箱にしかありません。

経営活動をビジュアルに鳥瞰する Intelligence Viewer “ Bird's View ”



蓄積されたデータの中から経営の舵取り(意思決定)に必要な経営データを直感的な表現でわかりやすくアウトプットしてくれるツールです。独自の手法でデータをビジュアル化しており、経営判断に有益な情報を入手できますので、ぜひ社長自らお使いいただくことをお勧めします。BSCモニタリングツールとしても有効に活用可能なツールです。

お問合せ先

InfoFarm 株式会社インフォファーム
〒501-6123 岐阜県岐阜市柳津町流通センター1丁目アーバンスビル5F
InfoFarm事業部 電話 058-279-5732 FAX 058-279-5930
URL: <http://www.infofarm.jp> e-Mail: techno2@infofarm.co.jp

平成18年度第1回例会・講演会 報告

平成18年度第1回例会・講演会が、平成18年11月18日(土)、名古屋市内の桜華会館において53名の参加により開催されました。今回は、中部経済産業局 地域経済部情報政策課課長補佐 近藤典 保氏をお招きし、「中部IT経営応援隊の取組状況」と題した基調講演をいただき、続いて、特別講演として、中部大学工学部電気システム工学科教授 角紳一先生より、「雷を捕らえると何がわかるかー雷リスクへの挑戦ー」と題した講演をいただきました。

たくさんの雷放電写真を見せていただいたり、雷を避けるための秘策を教えていただくなど、興味深い話を聞いているうちに「風

力発電ビジネスにおける雷リスク対策」のようなハイレベルな話に引き込まれてしまいました。2時間がとても短く感じましたが、同時にとても充実した時間を過ごせたという実感も残りました。

最後に、会場を松の間から富士桜の間に移して交流会が開催され、「ITCカンファレンス2007 in NAGOYA成功に向けて!」というテーマで活発な議論が展開され盛り上がりしました。

今回は、53名といういつもより少人数の寂しい例会・講演会となってしまいましたが、中身の濃い例会・講演会であったと思います。(ポイント委員会としては反省しています)

(ITC中部理事 磯部 秀敏)

委員会報告

企画委員会

企画委員会2006年7月に設立された、出来立ての委員会です。本委員会の活動内容として、

- ・ITC中部のこれからのビジョン・ミッションの研究及び方針策定
- ・会員サービスの調査・研究
- ・趣味の会、設立に対する研究及び提言
- ・ITC中部を核としたITビジネスの展開の研究及び提言

上記4つを柱として、今後のITC中部を考えていく委員会として活動します。

本年度の活動としては、企画委員会の開催(7/31,11/28)のみですが、正式メンバーを増強して、委員会活動に臨んでいきたいと考えます。また、2007年度は、IT経営カンファレンスの実行プロジェクトとしてより現実的な活動を展開していく予定です。

(委員長 稲崎 俊一)

ポイント委員会

新メンバーによるポイント委員会は2年目を迎えたが、最近の環境変化によって、イベントへの会員参加率が減少し、苦戦している。知識ポイントの取得が容易になったため、会員の例会・総会出席によるポイント獲得ニーズが低下している。そこで、各イベントの今後のあり方について検討を進めている。年度末までには全てのイベントの方向性を明確にしたいと考えている。

今年度のイベント実績は以下のとおりである。

1. PMBOKセミナー
【日程・場所】 10月7(土)～8日(日) 名古屋商工会議所
【ポイント】 16時間 4ポイント
【共催】 名古屋ソフトウェアセンター
2. 2006年度第1回例会・講演会
【日程・場所】 11月18(土) 桜華会館
【ポイント】 4時間 1ポイント

3. 合同自主勉強会(1月21日、27日、2月10日、24日)
場所 中電シーティーアイ 日本生命笹島ビル5F 9:30～
4. 2006年度総会第2回例会・講演会
【日程・場所】 3月31日(土) 名古屋工業大学 1号館
【ポイント】 4時間1ポイント

また、今後予定しているイベントは、以下のとおりである。

- ・合同自主勉強会(1月21日、27日、2月10日、24日)
場所 中電シーティーアイ 日本生命笹島ビル5F 9:30～
- ・2005年度総会第2回例会・講演会(3月後半)
場所その他 詳細未定(会場確保に苦戦)

(委員長 磯部 秀敏)

広報委員会

2006年度の広報委員会は下記の活動を実施しました。

1. 広報委員会の開催(2006/4/18、5/15、6/15、7/11、9/12、10/10、11/14、12/12、2007/1/16、2/14、3/7の計11回)
・原則毎月1回開催し、活動計画の具体的な内容の検討を実施
・毎回会議終了後に懇親会を行い、委員相互の情報交換を実施
2. ITC中部広報誌「架け橋」(年2回発行)の発行
・第7号:2006年10月発行
・第8号:2007年3月発行(今回)
3. ITC中部パンフレット(更新版)の作成 2006年11月発行
4. ビジネスウェーブ21の運営実施(2006/6/14～6/16)
・中部IT経営応援隊ブースの運営
・ミニセミナー(IT経営事例発表)の開催
5. ITCくまもととの交流会の実施(2007/2/10～2/11)
・「ITC中部・ITCくまもと交流会」に広報委員9名が参加
・ITC中部で2件(秋山氏、日比氏)セミナー発表
(委員長 日比 政博)

さまざまなモバイル機器からの印刷ニーズに応える モバイルプリンタ MPrintシリーズ



ルートセールス・渉外営業に。

保守・メンテナンスサービスに。

介護・訪問サービスに。

製品の特徴

◎ 抜群の携帯性

軽量・小型で、持ち運びに最適な携帯性を実現しました。
メモリ効果の少ないリチウムイオン充電電池は、持続力も抜群。

◎ 優れた操作性

ロール紙のような紙のカールがなく、扱いやすいカット紙
を使用。紙カセット入り用紙は、交換もスムーズ。

◎ 美しい帳票印刷

解像度300dpiの印字品質は、バーコード印刷など様々な帳票
印刷を実現。MW-260は、コンビニ振込用紙の印刷が可能。

◎ 開発者向け情報を提供

MPrintシリーズ向けの各種SDKやサンプルプログラム、コマンドリファレンス
などをWeb上で無償提供。スムーズなシステム導入をサポートします。
URL: <http://www.hankoworld.com/mwprintersdk/>

ラインナップ

MW-260		MW-140BT TypeF		MW-120 TypeF		MW-100e	
[用紙 A6サイズ]		[用紙 A7サイズ]		[用紙 A7サイズ]		[用紙 A7サイズ]	
携帯電話 PDA PC		携帯電話 PDA PC		携帯電話 PDA PC		携帯電話 PDA PC	
Bluetooth IrDA USB		Bluetooth IrDA USB		Bluetooth IrDA USB		Bluetooth IrDA USB	
130(W) x 210(D) x 18.5(H)mm, 約520g		100(W) x 160(D) x 17.5(H)mm, 約300g		100(W) x 160(D) x 17.5(H)mm, 約300g		100(W) x 160(D) x 17.5(H)mm, 約300g	

製品情報 <http://www.brother.co.jp/product/mwprinter/>

◎ 他社の事例も紹介中。カタログ・印字サンプル・評価用機材のご相談も承ります。

お問い合わせ先: ブラザーコールセンター TEL: 0120-590-385 (フリーダイヤル) FAX: (052) 819-5904

●受付時間 9:00~12:00 / 13:00~17:00 平日(月~土) ※日・祝祭日及び当社休日を除く

ブラザー販売株式会社
<http://www.brother.co.jp/>

ITC事例報告

『地元製造業に対するITコンサルティング活動報告』

私は、前身がコンピュータメーカーの技術者で、現在はIT系ITCとして微力ながら中小企業のIT経営実現に向けて活動しております。今回は、私のITコンサルティング活動の中から、製造業(機械製造組立)への参画事例をご紹介します。ご指導致しております作業プロセスは、ITCプロセスガイドラインを基本においた手順で進めておりますのでテクニカル面ではなく、ITコンサルティング活動を通しての自己反省点や独立系ITCとしての課題をご報告したいと存じます。

まず当該企業への参画ですが、2年前に顧問会計の方からご紹介を戴きました。しかし、経営幹部としてはITCという職種、私の力量、ITベンダーのSEとの違いなど総てが未知のため、中小企業基盤整備機構の専門家派遣制度を活用して以下のご提案から始まっております。最初の3ヶ月弱をかけて、大まかではありましたが“業務改革と目標設定”“課題と対策指針”“全社統合化によるIT導入スケジュール”を作成し評価を戴きました。その後に個別コンサル契約ができ当該企業のIT利活用のご支援をさせて戴いております。

2年前というと、どの企業もオフコンがリプレース時期を迎え、稼働しているアプリケーションも陳腐化し不良資産化しておりました。当該企業においても、オフコンのリプレース遅延に加え、順調に企業業績が向上しているにも拘わらず、情報の集約、統合化が未完なため経営幹部が経営資源のタイムリーな情報収集に躍起になっておられました。

具体的には、生産管理の統合化、可視化など。財務会計においては、月次決算(試算表)の早期化、精度向上などの要求が山積していた訳です。また経営幹部は、勉強熱心で各方面で経営セミナーなどを受講され、IT投資による問題解決、ERPパッケージ導入によるIT経営の早期実現が当社の直近の課題との信念をもっておられました。

さて、この段階におけるITCとしての対応と課題を付記します。

IT導入手法は、前述のようにITCプロセスガイドラインを基本においてご指導申し上げております。この手法は先輩諸氏の知

恵の集大成であり、経営幹部との折衝において事実裏打ちされたプレゼンができますし、作業を漏れなく進捗するガイドと捉えて使っております。

また、ご指導させて戴くうえでの重要なポイントとして経営成熟度、IT成熟度に見合ったIT化推進の大切さを身にしみ感じております。お客様は往々にして知識豊富(耳年増!)であり高望みの期待をされます。IT運用をする現場のスキル評価や、ITを“魔法の杖”如きに思われている経営者は多いのではないのでしょうか。従って、このIT化推進と平行して、社内マネージメント研修に経営成熟度、IT成熟度診断を取り入れてお客様自身で自己評価をして戴く脚下照顧の必要性があると思っております。

原稿枠がなくなり、最後にITCとして単独でITコンサルティングを遂行している反省と対策として3点を挙げておきます。

その1) 自分が病欠、その他でお客様にご迷惑をお掛けするリスクです。

その2) コンサルティング中に一人では対応できない仕事量増に対する対応です。

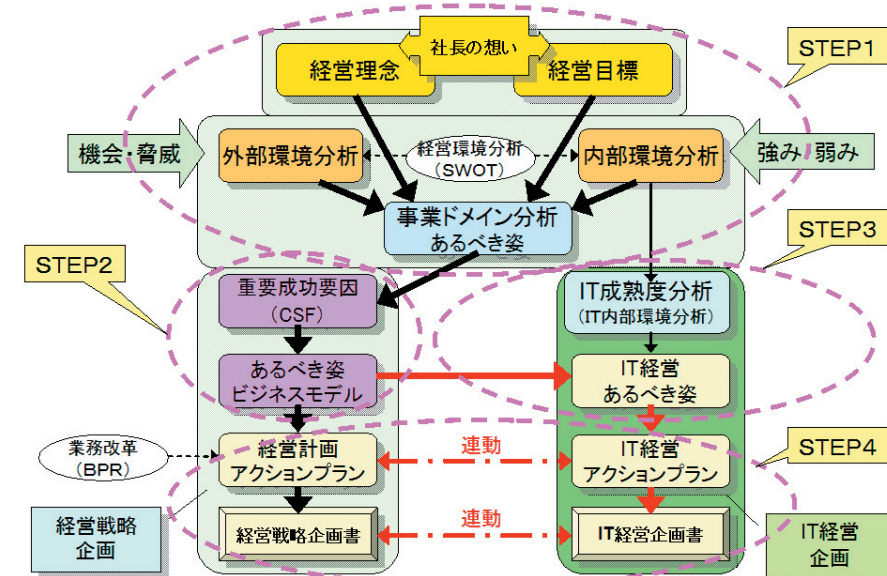
その3) IT経営を進めていくうえでの自分の不得意分野の対応リスクです。

これらを解決するために、昨年度より有志が集まって“コンサルティング・ファーム”をつくり活動をしてきました。得意分野の違う個性豊かな人材が毎月の例会に参集して活発な意見を重ね、相互のブラッシュアップ研修をおこない仕事のシェアをしております。今では、このリスク解決のみならず、ツール開発、共同受注と発展してまいりました。今年は、このコンサルファームを法人化してより有効に機能していくようにチーム目標を設定しております。

以上、独立系ITCとしての限界をご説明しながら、今後の課題と対策の一例を説明致しました。まだまだ未完の状況下ではありますが、ITCとして活躍しておられる方々、これから独立してITコンサルを業として進まれる方の一助となれば幸いと投稿しております。先輩諸氏からのアドバイスなども戴きたいと願っております。

(ITC中部事務局 高間 正俊)

業務改革推進手順……STEP1~STEP4





創る、支える、拓く



PDFstaff®

for Adobe®

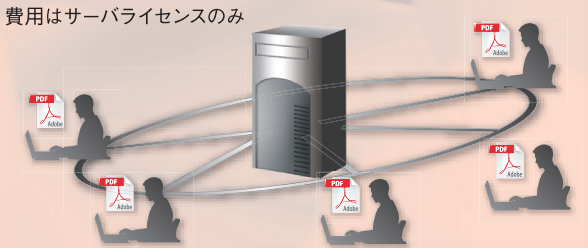
PDF変換を最適なTCOで提供します

TCO : Total Cost of Ownership

ネットワークにつなげるだけでPDF変換

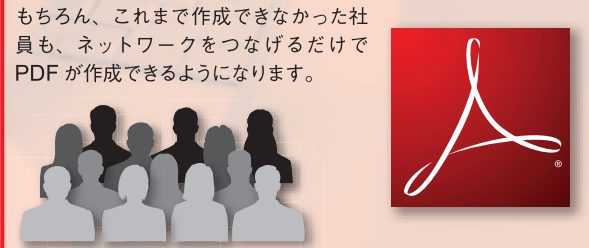
ライセンス不要 何人でもPDFが作れる

費用はサーバライセンスのみ



PDFを見る人は無償の Adobe Reader

もちろん、これまで作成できなかった社員も、ネットワークをつなげるだけでPDFが作成できるようになります。



1. Adobe 純正だから高品質・高信頼性



2. 簡単導入・簡単運用！

- ネットワーク接続だけで即日運用開始！
- Web ブラウザ利用で利用者はインストール不要



3. 電子文書のセキュリティ対策

- 改ざん防止、暗号化、印刷禁止などのセキュリティ設定
- 操作も簡単、利用者に負担かけず



※Adobe、Adobe ロゴおよび Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。活文、PDFstaff は日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社の商標または登録商標です。その他すべての商標は、それぞれの権利帰属者の所有物です。

HITACHI

日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社

中部支店 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄4丁目14番5号(松下中日ビル7階)

TEL. (052)265-0311 Mail. yu-hirose@hitachisoft.jp (担当:広瀬)

日立ソフトホームページ <http://hitachisoft.jp/>

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄4丁目14番5号(松下中日ビル7階)

TEL. (052)265-0311 Mail. yu-hirose@hitachisoft.jp (担当:広瀬)

日立ソフトホームページ <http://hitachisoft.jp/>

自主勉強会報告

ITC中部会員の相互研鑽を目的に、専門知識を有する会員を講師とし、ITCとしての広範囲な知識レベル向上に寄与する各テーマでの合同自主勉強会を開催しました。1月21日から2月24日まで土曜日を中心に4回開催し、延べ91名のご参加をいただきました。演題は以下のとおりです。(講師 敬称略)

- ・国内外の生産管理の実態とIT経営成熟度診断ツール適用事例(和澤功)
- ・年商70億円、80人規模の卸売業におけるIT化のあゆみ(5年間にわたる実践事例)(森田正博)
- ・日本版SOX法とITCのビジネス(磯部秀敏)
- ・中小製造業の経営改革シナリオ～競争に負けない企業体質づくり(畠山忠彦)
- ・新ITCケース研修とIT経営応援隊事業(鳥内浩一)
- ・企業体質を変えることはなぜ難しいか(岸田賢次)
- ・e-文書法の概要と文書電子化のメリット(大野淳一)
- ・ITコーディネータ活動報告(山田和久)
- ・意識改革なくしてIT経営なし(横山清文)
- ・日本における税電子申告普及への期待(井上新)

- ・事業継続計画(BCP)概要説明(伊藤実)
- ・売上高100億円以下の企業規模におけるRFP考察(三宅順之)

ご講演いただいた講師の皆様にはこの場をお借りしまして御礼申し上げます。次年度も多数の会員の参加を期待します。

(ITC中部理事 磯部 秀敏)



ITCA受託業務報告

平成18年8月より、ITコーディネータ協会主催研修・セミナーのITC中部への運営業務委託が開始されました。

これは、名古屋地区で開催されるITコーディネータ協会が主催する研修会、セミナーの運営業務は、従来はITコーディネータ協会からの派遣で行われていましたが、地方組織育成のために、ITC中部がITコーディネータ協会との業務委託契約に基づき、運営業務を行うというものです。今期は延べ9回の運営業務を受託し、任務を確実に遂行しております。

今年度は、安定した運営人材の提供という実績により、ITコーディネータ協会に対して、ITC中部の存在感を強くアピールすることができましたので、来年度はさらに多くの運営業務を受託するとともに、研修そのものをITC中部で企画し運営まで行い、ITコーディネータ制度の維持発展に寄与するとともに、ITC中部の活動の場をさらに拡大します。

(ITC中部事務局 鳥内 浩一)

ITC中部が運営業務を受託した研修一覧(平成18年度)

	開催日	名称	スタッフ
1	8月26日	ビジネスプロセスの本質、評価方法と改善 改革	関口 幸一
2	9月13日	情報系ITCのための必須会計基礎	伊藤 実
3	9月14日	情報系ITCのための会計知識基礎の活用	磯部 秀敏
4	9月21～22日	IT経営成熟度診断ツール研修	和澤 功
5	10月4日	実践経営戦略策定演習	森田 正博
6	12月6日	ITCの為のUML講座	三宅 順之
7	1月13日	経営者から評価されるITサービス提供のポイント	磯部 秀敏
8	2月6日	ITCのためのファシリテーション入門	伊藤 実
9	3月19日	ITCのためのエクセレント・リーダーシップ	日比 善久